京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通(電話六六三)
發行所 京城新報社

雜録

内外應酬 一記者
京城管見録(二)

▲交通● 京城では通行税を徴收せぬ、其代りに非常なる危險と、恐ろしい不潔とは忍ばねばならぬ、南大門驛より城内に入らんとせば狹い道路を人車、馬車、馬に牛、それに人は交つて泥に醉つた鯲のやうに悶掻かねば決して門内に入れぬ譯だ、肩摩轂撃なんとはれろかなか、斯る處へ電車は追かけ引かけ駛せ通る、危險百はん方無き切所を命辛々通り抜くれば廣々とした南大門前に出る、もう大丈夫と胸撫で下ろす目の前に、交通整理の警官が立つて居る、行人は益々以て安心する、門内に入る、本町通りは日本人町である、此の方に足を向ける者は門外で遭遇したると同様の危險を冒さねばならぬ、其他の方に向へば唯もう不潔である、都大路に犬の糞、人の糞、漢城衛生會も警視廳も人と犬とに糞便を禁する權能を有せぬ、だから已むを得ぬ譯と我慢する、交通機關は電車がある、即ち有るといふ丈けで結構、人力車がある、數多きヨボ車の不潔さ加減は實以て言語に絶する狀である、ヨボなるもの嚊哉を加へでは何處迄不潔にするものか大方試驗中でがな。

▲家屋● 韓式家屋が九分で、其殘りのもの丶九分が日本式家屋で其の余が西洋館である、但し日本家屋に住む韓人は日本人の居人たるもの丶外には先づ無いと云つて宜しい温突に住む日本人は太だ多い、亞鉛葺の便所の屋根が温突の横に見ゆる其處には日本人が住むので、ピンデーが移轉し若くは移轉せんとする準備中たるを知るべきである蓋し此の一事は大なる教訓を人間に與ふる、夫れは日本の開港場などにピンデーの同族南京虫が居る、此奴は支那居留地に根據を定め、大に日本人家屋に拓殖を試みつゝあるのである、然るにピンデーは斯る同族の發展に引かへ意氣地無くも日本人の氣勢に恐れて祖先傳來の古巢をさへ退轉する、因て惟ふに勢は常に攻勢を取るに利ありと、併しながら例外はある、常に攻勢を取つて損をするのは韓人家に附物の犬である、外人を見れば必ず其の脂肪氣の無き脊の毛を逆立てゝ吠へつく、丹が爲めに飛むだ憂目を見せらるゝこと恰も似而非愛國の排日呼はりをするヨボの如しである、家屋の題が門を衛る犬から崩れ始めて、ヨボが上にまで及むで了つたが、是等は題を更へて申述べやう(未完)

重要雜報

本紙停止中に於ける重要雜報如左

▲木越中將 第六師團長木越中將は二十五日午後龍山田發內地に歸還

▲松永中將 第二師團長松永中將は二十五日午前石塚長官事務取扱を統監府に訪問し着任の挨拶を爲せり

▲治道工事 本年度に於て着手竣成の筈なる治道新線路は既報十一線路なるが既に內五線は測量に着手したる由にて早きは來月中旬より起工するに至る可く未だ測量せざるものは近々夫々着手する筈也

▲商工調査 農商工部商工局の商工調査方針に就ては既報の如くなるが愈々近々調査員を任命する筈にて右任命確定次第約三手に別ち全韓國の商工調査に從事せしむる筈にて調査結了迄には今後約二箇年間を要す可く而して今年末には夫れまでの調査結果を印刷し成る可く一般に公表す可しと何全部の調査結了の上は一冊子に纏めて出版する筈なりと

▲東拓總會 東拓會社は愈々五月廿四日午後一時より東京商業會議所に於て第二回定時株主總會を開き引續き臨時總會を開く事に決し夫々株主に對し通知狀を發したり總會の目的及び決議事項如左

▲定時總會の目的及決議事項
一明治四十二年四月一日より同四十三年三月三十日に至る事業報告書財產目録貸借對照表損益計算承認の件
一利益金分配案決議の件

▲臨時總會の目的及決議事項
一定款中改正の件左記議案の通り(議案略)

▲渡清實業團 近藤廉平氏を始め全國各商業會議所の代表者渡清實業團は來月十日前後を以て京城着の豫定なるが當地民團及び商業會議所にては一行の歡迎方法に就て協議中なりと

●工傳製品の販賣會
東部梨花洞なる官立工業傳習所は來る二十四日(日曜)午前十時より午後四時迄實習所を開放して一般に作業の狀況を觀覽せしめ尙染織、陶器、金工、木工、應用化學等各科の製作品を販賣せんとて目下其の準備中なり觀覽希望者は豫め同所に申込まば觀覽券を渡さるゝ由因に當日頃は同所附近桃李花の盛りなれば遊興を兼ねたる觀覽者も多かるべく又高等學校其の他の團体申込も多數なりと聞けば定めて盛況なるべし

綠陰漫筆 凹凸生

▲米國婦人の戀
慶南大邱の李某布哇に出稼ぎ、重病に罹つて某米人達の治療を受く病者近かすして醫師病んで殪る、未亡人某夫の死を悼むの心情は注いで薄命なる李の身の上に及ぶ、熱したる情は遂に兩者の戀となる而かも李の歸國を逐ふて遠く韓國に來り大邱の片邊り隔せき温突の侘住居、緣は異なもの變なもの米人ならでは出來ぬ業。

▲噫、天草の娘
余の旅宿に正直なる下婢あり、年齒漸く十九、其生地を問ふ、彼れ默して答へず而かも顏面朱を注ぐ、强いて向へば天草なりと低語す、由來天草は醜業婦を出すを以て名高し爲めに天草の女は遂に良縁を得る能はず、無智の下婢又之を嘆ず何ぞ夫れ同情するに堪へんや、泥中又蓮無しとせず、噫憐れむ可き天草の娘。

▲果して無風流乎
一夜枚を南山に曳く嚢中の銅貨一本の麥酒に盡く、而かも陶然として醉ひ全身汗に濕ふ、乃ち一聲喝破、杖を以て大地を叩く、月天に高く、影地に小なり、緩歩して家に歸る時正に十二時、咄、是れ無風流乎、誰れか知らん風流却つて風流ならざるを。

▲宜しく公開せよ
南山は眺望佳なれ共花に乏し、旭公園未だ稱するに足らず、聞く大屋長官の庭園は二萬金を投じて華美を盡せりと而して今正に桃櫻滿開の好時季、獨占獨樂は心憎くし、宜敷此際公開して花に對する都人の慾を充たしめよ、人夫れ仁さや言はん。

俳句

春五句 千春

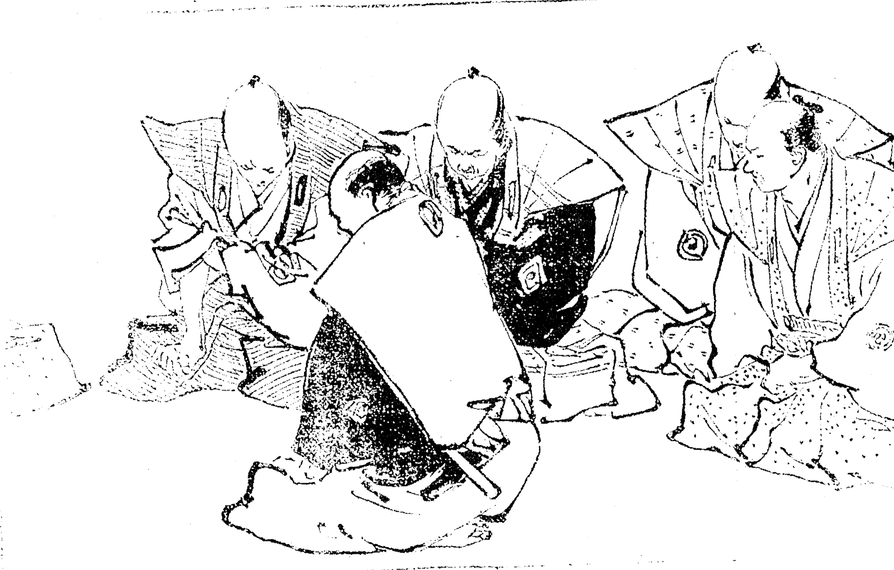
春の色まろめて嵜しくさの餅
姉嫁して唄の淋びしさ茶摘哉
みな恩賜なり廢兵の衣かへ
海棠の窓や机にねむる人
柴船へ積み込まれけり[illegible]



第九十九席 邑井一講演

津田近江之守(三)

小身の面々は直に顏を見合せて〳〵殘念なことであると思ひましたのは、知行の高に致して見まするど、大野九郎兵衞は一番知行高でございます、彼奴は當時二千石を領し、百石に就て二十兩とあれば、先づ四百兩からの金を取りまする、小身なる百石以下の者は一人前に十兩とは随分酷いとは思ひましたが、何分大石の計ひでございますから、是非なく此儀を承諾致した、所で早速資藏を開かれまして岡島に申付け、八十右衞門が立會の上軍用金を取出して見まするど、主君長矩殿御存生中に貯ひ置かれましたのが、一万五千兩ばかりございます、夫れを一々金箱開いて封印を檢め、さて金奉行の岡島八十右衞門に是れを渡すことになりました、依つて八十右衞門は直様役所へ是れを運ばせるといふことになりました、其の上大石は知行割に致したる書附に印形を捺ゑ、尤も割印と云ふものを致しまして、是れを銘々持參さして配當金を頂戴なさいと申し渡しました、大身の者は大きに悦びました、千石或は八百石、五百石、三百石と云ふやうな知行割の銘々は皆割印捺つた書附を申し受けまして、先づ此日一同退出と云ふことになりました、さて此知行割の者を退出させて置いて、百石以下の者許りを集め大石は『さて各々方は定めて不足でもあらうが、人數一人に就て十兩と云ふのでありますから假令へ昨日出生したる子供でも苦しうない、悉く人別を記して差出すやう』とのことでありますから、そこで各々家族を調べて見ると、假令僅か頂戴する者にもせよ、親もあれば妻もあり、或は子もあると云ふやうなめので、此方は五十石だが、宅に大人が四人子供が三人合せて見ると、マアー寸五十五兩許りは頂けると云ふやうな勘定で、三百石位の知行取に相當しまするやうな譯合でございます、さて大身の者も段々考へて見ると云ふと、大きに的が違ひましたので、大石と云へる奴は巧い具合に計つて、人を馬鹿にしたることである、吾れ〳〵は家内が十何人と云ふものあつて、少なくとも五百兩近うの金子を取るのであつたが、却り少身者と區別がないやうなことだと呟く者もありまするが、此知行低の者には獨身の者もありまして、夫等は到底十兩では可けないと云ふので、是は一人前に五人前、或は六人分も分配し、先づ五十兩より少なからぬ配當額と云ふことに致しまして、皆々に手渡しを致して遣ります、其上内藏之助は自分が受けたる三百兩の金子のうちより召使ひの者の面々に、割賦を致して充行ふと云ふことに相成りました、茲に於て下樣の者は大石の計ひの程を涙に暮れて悦びましたが、さて金奉行の岡島八十右衛門は、實に何うも忙しいことは一通りではございません、何故其の上に岡島に申し付けまして、家中住方に至るまでも、知行所中へ夫れ〳〵布告を出しまして、是れまで通用致し居つたる銀札を、皆夫れ相當に引換へて取らせるとのことでございます、依つて其布告を出しまするど、下樣の面々の悦びと云ふ者は如何許りでございませう何だ難有いことぢやあないか、當御領主はれ家の騒動で、御家中樣は皆散々になつてしまひ、此銀札は明日が日から殿樣が更つて通用しないやうになつたつて仕方がないのだ、夫れを滯はりなく引換へて遣らうと仰しやるのは、何うも難有いことであると、領分の百姓町人は涙に暮れまして、頻々銀札を引替に參ります、其うちに家中の器も取りに來ると云ふ大變な混雜、僅か一兩日のうちに是れを片付けんと云ふので夜の目も寢ずに八十右衛門は、役所へ詰め切つたなりで勤めて居ります、所へ家來を伴れて大野九郎兵衛が出掛けて參りました九郎「アー何うか岡島、此方の分を渡して呉れよ」と差出しましたは割印を捺つた書附でございます、彼れは申すまでもなく二千石でありますから、早速書附けと引替へに、四百兩と云ふ金子を渡しました、すると屋敷へ持つて歸りましたが、暫らく經つと一人の若黨体の者が遣つて參りました。



東京電報

▲伏見宮の御消息

伏見日英博覽會總裁宮殿下には廿三日亞丁御着即夜ポートサイドに向け御解纜二十八日同地御着の御豫定なる旨其筋に電報ありたり(廿七日)

▲伏見若宮和蘭御着

伏見若宮同妃兩殿下には和蘭海牙に御安着あらせられたる旨其筋に通報ありたり(同上)

▲英國海軍の同情

英國大使館付武官タンダス大佐より第六號潛航艇遭難者遺族に對し英國海軍省の名義にて金百圓義捐し來りたるより齋藤海相は伊藤駐英武官に訓電し同國海軍に謝意を述べしめたり

▲本年麥作の增收

當局者の談によれば本年度麥作は目下の見込にて全國共良好にて前年度より增收の見込にて來月中旬全國の概況を發表する筈(同上)

▲生產調査の範圍

生產調査會の調査事項は生產を狹義の意義に解釋し單に農商務省所管事務に留め主として農工商、林業、鑛業、漁業等に付き調査し委員會の建議事項も此範圍に留めん計畫にて臨時委員を設け學者專門家に囑托して專問科學に關する調査を爲さしむる筈三四年間繼續すべき豫定なり(同上)

▲清國觀光團の退京

滿州觀光團は明廿八日午前新橋發退京し富士紡績の參觀は見合せ三日間名古屋共進會を參觀視察の上大阪を經て歸途に就き五月廿日迄に奉天に歸着する筈(同上)

▲曾禰子は肝臟癌

平井軍醫監診斷の結果曾禰統監の病名は肝臟癌と決定したり(二十八日)

▲英皇帝の御歡迎

英國皇帝陛下は近く日英博覽會名譽總裁伏見宮殿下を主賓とし盛大なる歡迎宴を開かせらるべし(同上)

▲日英博と祝賀會

日英博覽會は愈々來る十二日を以て伏見名譽總裁宮並に英國皇太子殿下御臺臨の上盛大なる開會式を擧行し同夜は官民五千餘名を招待し盛大なる祝賀會を開かるべし(同上)

歐洲電報

▲日本關稅の影響

英國下院に於て一議員は外務卿エドワードグルー氏に對し英國貨物に對する日本關稅は不利益の結果を來せり之に對する政府の處置如何との質問を爲し外務卿は之に答へて曰く目下の

▲佛總選擧の結果

佛國下院總選擧の結果左の如し

當選者共和黨四十九、急進黨百卅人、獨立黨十一、勞働社會黨三十、進步黨三十五、國民黨十三、保守黨及自由黨四十八

其他決選投票者二百七又前內閣大臣にして當選せるはクーランにしてミレランド、ドウモは決選投票を爲すとなれり(同上)

▲太公後室の遁世

先に暗殺せられたるセルギユース太公の後室は遁世して尼寺へ入れり(同上)

▲飛行機の脫離破壞

ツエッペリン式第二號飛行機は其碇留塲より脫離し獨り空中に昇りワイルブルヒに到着全然破壞しありたり(同上)

▲土國內亂と官兵

土耳古ルーメニヤブリスチナ地方に於て數万のアルバニヤ人は土國官軍と交戰し官兵の損害大なりアルバニヤ人の勢は益々猛烈なり官兵は來援を求めたるも內亂は各所に蜂起し鎭撫困難なり(廿八日)

北京電報

▲米出兵と清政府

北京政府は米國政府が湖南全省の騷擾に關し同國民保護の爲め比律賓軍隊を派遣すべしとの電報に接し軍機大臣會議を開く等狼狽を極居り(廿八日)

雜報

▲德壽宮の幻燈會

二十七日夜德壽宮內洋式殿に於て幻燈會の催ほしあり太皇帝には嚴妃と共に臨幸あらせられ趙承事府總管等に陪觀を賜はりたり

▲東拓總會と議案

東拓會社第二回總會は五月十四日東京商業會議所に於て開催する事は本紙第一面の通りなるが其議案左の如し

臨時株主總會議案

東洋拓殖株式會社定款中左の通改正す

第三條第二項中「便宜の地に」の下に「支店又は」を加ふ

(理由)業務の發展に伴ひ將來支店設置の必要あるへきを認めたるに由る

第三十四條に左の一項を加へ第一項中「ものとす可否同數なるときは議長の決する所に依る」を「但し定款の變更は資本の半額以上に當る株主出席し其の議決權の過半數を以て之を決す」に改む

前項の場合に於て可否同數なるときは議長の決する所に依る

(理由)東洋拓殖株式會社法改正の結果に由る

第五十四條第一項に左の三號を加へ第二項中「第五號」を「第八號」に「五分の一」を「二分の一、第七號の貸付金總額は第三號の貸付金總額の二分の一」に改む

六 韓國に於ける日韓公共團体に對し二十年以內の年賦償還又は五年以內の定期償還の方法に依る無擔保貸付

七 移住民及韓國農業者にして二十人以上連帶して債務を負ふ者に對し五年以內の定期償還の方法に依る無擔保貸付

八 韓國農工銀行條例に依り設立したる農工銀行の發行する農工債券引受

(理由)東洋拓殖株式會社法改正の結果に由る

第六十三條中「又は」の下に「日韓兩國政府若は」を加ふ

(理由)東洋拓殖株式會社法改正の結果に由る

發行停止の反響

去る四月二十三日突然本紙が發行停止を命せられたるは如何なる理由なるかは頗る了解に苦しむ處なるが今本紙停止に關し各地新聞紙の京城電報として揭載せしものを擧ぐれば左の如し

▲大坂朝日 は統監は胃癌と題し『桂侯は統監訪問の際平井軍醫正を伴ひ診察せしめたるに愈胃癌なる事確定し全快絕望なりと診斷したる旨記載せし京城新報は二十二日夜即時發賣頒布を禁止し且發行停止を命せられたり尙同社主筆峰岸繁太郎氏は統監の後任が後藤男に決定せりと特筆せし爲政界稍動搖の兆あり

▲大坂毎日 京城新報は曾禰統監の病氣全快の見込なきを以て後藤男統監後任に內定せし旨を記載せしため發賣禁止、發行停止の危禍に會ひ家宅搜査を受けたり何時もながら當局者の神經過敏なる驚くに堪へたり

▲福岡日日 京城新報は桂侯爵は曾禰統監訪問の際平井軍醫正を伴ひ診察せしめたるに胃癌なりと確定し全快絕望なりと診斷したる旨揭載せる爲め二十二日夜發行停止を命せらる又統監の後任は後藤男に決定せりと記せるより政界動搖の徵あり

▲報知 曾禰統監、平井軍醫正診察の結果快癒絕望と決し後藤遞相後任たる可しとの東京特報を揭載せる京城新報は發行停止を命せられたり

▲萬朝 は愚なる統監府と題し『二十三日發行の京城新報は曾禰統監の病症は胃癌にて後藤男統監たらんとの電報を揭載せる爲め發行を停止さる尙統監府にては統監問題の消息を絕つ爲め日本字新聞の輸入禁止の議あり』

▲時事 當地發行の京城新報は統監は平井軍醫正診察の結果快癒絕望なる宣言を受けたりとの記事を本日發行の紙上に揭げたる爲め官憲は治安妨害として發賣禁止更に發行停止を命せり昨今新聞記事に對し官憲は稍や神經過敏と爲れるもの〻如し

▲國民 京城新報は曾禰統監の病氣胃癌快癒見込なく後任後藤男に決すとの記事を揭げ治安に妨碍ありとて發行を停止せらる

▲都 京城新報は曾禰統監病氣は胃癌にして快癒の見込なし後任は後藤男に決すとの記事を揭け發行停止さる

▲東京日日 二十三日發行の京城新報は曾禰統監の病症胃癌と決し後任は後藤男ならんとの電報を揭げし爲め發行停止さる

▲東京朝日 桂侯が統監訪問の際平井軍醫正を伴ひ診察せしめたるに彌胃癌なること確定し全快絕望なりと診斷したる旨記載せし京城新報は二十二日夜即時發賣頒布を禁止し且發行停止を命せられたり尙同社主筆峰岸繁太郎氏は統監の後任が後藤男に決定したりと特筆せし爲め政界稍動搖の兆あり

▲釜山日報 京城新報は統監病氣の記事にて發行を停止さる

▲木浦新報 京城新報は統監病氣の記事を揭載せるため發行を停止さる

▲平壤日報 京城新報は統監病氣の記事を揭載し發行を停止さる

▲鎭南浦新報 京城新報は統監病氣の記事にて發行停止さる

▲朝鮮時報 京城新報は統監病氣の記事を揭載し發行を停止さる

▲大邱新聞 京城新報は統監病氣の記事を揭載し發行を停止さる

▲群山日報 京城新報は統監病氣の記事を揭載し發行を停止さる

▲元山毎日 は統監の病氣と發行停止と題し京城新報は本日の紙上に桂首相は平井博士をして曾禰統監の病氣を診察せしめたるに胃癌にして快癒絕望なりし旨記載したるに依り發行を停止せらる

右の外多數の新聞紙は何れも同意味の電報若しく雜報を揭載し居れり

●韓國出品物の寄附

韓政府より出品せる福岡名古屋兩共進會の韓國館は非常の人氣を博し韓國紹介上尠からぬ効果を奏せしは既報の如くなるが兩地商業會議所又は學校其他公設諸團体より閉館後は是非之が寄附を受け永久に參考用として保存したき希望を申出で來るもの續々たりと之に對し農商工部は全部還送すべき豫定なりしも折角の所望を空ふするも本意ならざれば差支なき限りは之れに應せん筈なりと

●鄕校の財產と學部

地方各府郡には鄕校と稱する學堂ありて之が維持の爲め孰れも相當の基本財產を有せるが元來該財產たる官廳の下附又は有志者の寄附に成り一種公共的性質を帶ぶるものなり然るに其管理方法兎角曖昧なりし爲め往々奸徒の乘ずる處となり擅に之を放賣して散逸耗盡するの傾向あるを認め學部は部令第二號を以て鄕校財產規程を發布し同時に各地方官に對し其成立の趣旨を確保すべく訓令を發したり

●船舶積量と小船舶

先日發布されたる船舶檢查規則に依りて船舶の積量を測度することは稅關に於てするを本則とするも五噸若くは五十石以上又は二十噸若しくは二百石未滿の小船舶は財務署に於て取扱ふ筈なるに付專門家にあらざる財務官吏は其測量方法を辨へざるを以て關稅局にては簡易なる測量方法を示すべく目下調査中なり

政治小言

▲統監政治のタガの弛める今日より甚しきはなし、或人曰く是れタガの弛めるに非ずしてタガの外れたるが爲なりと記者何れを信ずべきや知らず只憂ふるは政務の曠廢也。▲宇佐川東拓總裁現職の儘副統監に任せらるべしと、飛でも無き流說もあるものなり、管船局長が郵船會社長を兼任し得るの時節とならば知らず公衆及東拓社中安心して可なり。▲國分參與官或大なる物を携へて歸ると、大なる物とは大なる行李の事なり、其中には愛兒君への玩具愛妻君への新形夏物を藏す、其他に何の珍物やあらん。▲桂侯の意を受け半島處分の資料蒐集に從事するの士目下當地に數名入込み居れりと云ふ。若し眞ならんには統監府は甚だ馬鹿にされたるなり、參與官の連袂辭職……夫れとも默して止むか。▲石油王ロックフヒラー胃癌を病む、二千萬弗を懸賞して胃癌全治藥を求めて得ず、胃癌は不治症と相場決定す。

●大久保局長招待會

廿八日午後六時半より翠翠樓に於て大久保商務局長の招宴を爲したるが當日の出席八名左の如し

石塚長官、石井少將、菊池局長、俵次官、荒井次官、工藤局長、中村局長、橋井局長、黑岩技監、中川檢事正、吉原副總裁、林理事、井上理事、本田博士、三宅判事、若林總監、四王天事務官、飯島關稅局囑托

●松永師團長歡迎會

新駐屯第二師團長松永中將來任に付き平渡內部書記官、嶺東拓秘書役等發起となり五月一日正午より京城ホテルに於て同將軍歡迎會を開く筈なれば第一師團に關係あるもの及び宮城縣人其他にして來會希望者は大和町內部官舍平渡信氏宛申込まるべしとなり

●船舶檢查地の指定

統監府側の船舶檢查規則に依る船舶檢查執行地は釜山及び仁川の常檢查地以外に於て帆船及び平水航路を航行する汽船に限り元山及鎭南浦を指定する筈

●松平子爵等の謁見

目下入京中なる貴族院議員松平子爵、衆議院議員改野、秋岡及野田の三氏は二十九日石塚長官帶同謁見の筈なり

●馬關毎日祝賀會

馬關毎日新聞は創立二十週年の祝賀會を五月一日開催し當日發行の新聞紙は大增刊を爲すと

●龜井大尉の轉任

軍司令部附龜井步兵大尉は今回步兵第十聯隊(姬路)に轉任し後任者着任の上出發する由なり

●兩大尉の轉任地

軍司令部附池步兵大尉は步兵第三聯隊に同大隈騎兵大尉は騎兵一聯隊轉任不日出發赴任の筈

曾禰統監の容体

二十四日曾禰統監を片瀨に訪問したる某氏の談に頃日來の不氣候は痛く統監の病勢を激し食物の如き全く固形物を廢して一切流動物を用ひつ〻あり隨つて非常の衰弱を來し毫も平生の元氣なく談話にも懶き有樣なりと云ふ(東京日日所載)

谷田中將の入京

西韓地方巡視中なりし憲兵司令官谷田中將は二十八日午後一時十二分南大門驛着列車にて入京文武官民二百餘名の出迎を受け直ちに憲兵隊本部に赴き本部及分隊を巡視し午後三時天眞樓に投宿されたり當地に約五日間滯在其の間に仁川及龍山をも視察する由

●民團合併と委員會

京龍兩民團合併に關する調査委員會は其第一回を二十八日午後六時より京城民團役所樓上に開催したる由而して皆川委員は直接兩民團に就き參考資料を調査し同會へ提出せし筈なるが他の各委員も夫れ〲意見を有し居たれば同會は多少の紛擾を免れざりしならんと

●支配人會議終了期

過日來漢湖農工銀行樓上に開會中なる各農工銀行支配人會議は二十八日も午前十一時より開會藤原銀行課長及河內山監督課長列席の上金融機關職員共濟會設置に關する件を附議し午後四時散會せり因に同會は三十日を以て終了す

●大久保局長の入京

大久保商務局長は廿八日午後二時二十二分南大門着列車にて入京せられたり

●小倉主計監の出張

小倉主計監は經理事務檢查の爲め二十八日出發平壤及び鎭南浦へ出張したり

●ハリス博士の入京

ハリス博士は二十八日午後八時二十三分西大門驛着の列車にて入京したり

●龜井大尉の出張

軍司令部附步兵大尉龜井佐一郎氏は二十九日龍山を出發し利川、陰竹、可興、忠州、聞慶、咸昌、尙州、善山、多富、大邱地方を巡視し來月十日頃歸京すべしといふ

●松本理事官入京

木浦理事官松本重敏氏は二十七日入京巴城館に投宿す

●片山大尉の出發

臨時測量部附片山工兵大尉は廿七日出發烏致院に向ふ

岡村技師の辯明(二)

臨津江架橋問題に就て

岡村技師曰く

抑も吾等の分としては夫れ〲の手續に依て監督官廳の承認を得て事を處理すれば即ち足ると小前提を與へたり、氏は如斯職務に對する覺悟を有せり三十年來執り來りたる職務上の熟練は善惡邪正表裏向背何れにもせよ其撰むがまゝ欲するがまゝに措置するを得べく監督官廳の承認を經るが爲めの手續の如きは其欲する處に是れ之く蓋し茶飯事たるべし氏は語を繼で

彼の臨津江の架橋工事は兩段に別ち一つは直營とし他は請負に附せしが同江洪水の爲め假橋は流失し請負者の工事も足場を流されて損失を被むれり尤も假橋は同請負工事と何等の關係なし……

と言へるにより記者は此處に言を挾み關係なき假橋の事は吾に於て聞くの要なし唯知り度きは足塲流失等に因て生じたる請負者の損失は貴廳に於て之れに關心するの必要ありしや否如聞者請託此の間に行はれたりと云へり請託即ち行はれて請負契約の改訂となり工費の追加支出となりたりと云へり請負契約の改訂されたる以上其新契約に依て工費の追加さる〻は表面官規と抵觸する處なきや當然なり然れども契約の改定は果して如斯場合に行はるべきものなりや又然る狀態にして工費追加されたらんには事の表面は兎に角其實之れを不當支出と云ふべからずやと質問せしに氏は

請負者が天災の爲めに損失を被むりたる場合は補助の方法を講ずるを常とせり臨津江架橋工事に對しても亦此の例に從へり契約の事は今能く記憶せざるも予は不正なる請託に應じたること無きを斷言す又不當支出云々は當時八十餘萬圓を追加支出し假橋の再架費用及本工費に添加せしも總て監督官廳の認諾を經たるものの決して不當支出にあらず

斯くて記者が質問の眼目たる契約改定の有無及其當否附た之れに依りて決せらるべき支出の是非は遂に聞くを得ざりき因て記者は更に現に來韓中なる會計檢査官の不當支出として摘發するが如き事はこれ無かるべきやを訊ねしに氏は『制規の手續を履むで支出したるものに對して何の咎ぞ』と嘲けり記者は私かに謂らく檢査官にして事の表面を見て其眞相を查覈する無くんば他事なからんと記者は氏に向て責任者の責任有る答辯を聞かんと欲せしのみと告げ三十年來邦家の爲めにのみ盡したる此の技師の許を辭せり(完)

▲治外法權▼

久振で開かれた此間の經濟協會例會は今度鐵道院へ轉任する石川、岡兩君の送別と新任三本營業課長の歡迎とをやつた、例に因つて市原幹事長は石川、岡兩君に向つて協會內規の出發稅を拂ふべく要求した協會の內規は岡君も良く承知して居る因つて市原君の要求に應ずべく直ちに立つた▲岡君曰く私は出發稅として今夕の會で鐵道統計談を試むる積であつた、併し統計の話は元來無味乾燥だ●●●●●●●●の諺に曰く見送りするする欠伸する、と私は今夕諸君から送られる身だ、此送られる身の私が統計談をやつたら諸君が必ず欠伸をするに違ひない、見送りするする欠伸は御免だから統計談は他日に讓ると旨く切拔けた▲石川君の出發稅は南阿に於ける獨逸の鐵道經營と云ふ雄大なる講話の筈であつた、而るに意となつて君の曰く本講話にはアフリカの地圖を要する、トコロが今夕は不幸にして其地圖が無い因つて遺憾ながら本講話は他日に讓り今夕は他の話で御免を蒙ると之亦岡君同樣旨く切拔けて仕舞た、嗚呼兩君の舌頭や將來畏るべし▲廿三日の本紙は統監の病氣に對する平井軍醫の宣告と後藤男が統監後任に內定したりとの記事を揭げし爲其筋から治安に妨害ありと認められ發賣頒布を禁止せられた上發行停止を命ぜられた▲記者はアレシキの記事が左程に重要視さるゝとは信じなかつた、併し妙な事には霹靂一聲其筋の嚴命が下つた爲ドーヤラ陰で記事に割増が附いて廣まつたらしい、之を以て此を見ると記者は今回の停止に附き官憲を怨むどころでなく却て禮を云ふ理由がある樣に感する。▲時事特派員橫尾君記者に語て曰く京城新報今回の發行停止は其理由初號活字を使用したるにありだ、同じ事でも二號で書けば何でもない、今后は『帝國萬歲海陸軍大勝利』の外初號を使ふべからずと蓋し至言と申べきか▲ヤツト解停の恩命が降つた、之で不相變讀者諸君に見ゆる事が出來る。

●巨濟島方面の鯖漁

韓海の鯖漁は元來釣業なりしが昨年來……漁に從事するあり數日前に於ける釜山……水產會社六万尾の水揚を初めとして毎……

……で請願中なりし慶尙南道長生浦海面埋築工事の件去る二十六日を以て……

……午後八時二十三分西大門驛着列車にて入京したるが兩三日滯在の豫定なりと

……圓豫備金より支出の件裁可公布せらる

●韓國側學校運動會

●仁川居留民會開催

廿六日午後三時より民會を開き助役撰……

……商工部次官は來月中旬歸任さるべしと

●天氣豫報(二十八日午後六時)



名妓洗髪の亂れ妻（五）

▽美しかつた芝翫さん
▽忘られない紀元節

何うでも話せと仰云るの、隨分貴郎も罪だわね、▲役者買の皮切りが前云つたやうに團藏さんでしたが、私は廿歳になるやならず、團藏さんは五十八九でしたね、もう本卦返りに近い年ですもの、幾ら役者だつて年が年ですし私からいふと可笑しいやうですが隨分と私には惚て居ましたね、芝居で團藏さんが遊びに來る時には、芝居が一つですから大抵芝翫さんと一緒に來る、訥子芝鶴なんかも取捲といふ風でした、當時の芝翫さんは夫れは〳〵人氣のあつたもの、若い娘なんかは新駒の簪には大騷で苦勞してゐますもので、團藏さんの座敷へ出てゐる間に私はツイ一寸芝翫さんに岡惚れしました▲夫れは〳〵當時の芝翫さんは、美しいものでしたわ、私は岡惚れしたもの丶、只の一度も關係も無くて濟んだといふのは矢張團藏さんが私に大騷してゐる最中でしたし、其の上常も二人は一緒に來るので、其儘芝翫さんの方は流れでしたが、團藏さんと私との仲は何といふ事なしに遠う〳〵しくなつて來ました、何れかといふと私が郷さんに飽いて來たのでした、その内當時若手の賣出してあつた菊之助と私が去る處で出來合つたのでで、處ろが面白いことには、當時布袋屋のおまちといふ人があつて、又菊之助に夢中になり、遂々菊之助をおまちさんが家橘と好い仲でしたのが私が菊之助と出來て間もなくおまちさんが一方、家橘に週つてゐながらおまちさんが菊之助の女房になつたのですが私は其騷ぎの折にグツト癪に觸つた、家橘にあつてゐながら菊之助を買ふなんて怪しからんと思つて、ツイ捨てられた家橘さんが可愛想なやうな氣もしてね、私は家橘さんをと思ふやうになりましたが、急に何うといふ事もなくて過して其間にや又々他の役者との關係も出來ましたが、其の話は別として市村と私とは斯んな事で私の方にや種がある、何かの機會があれば芽が萌ゆやう〳〵としてゐたのが丁度好い折が湧いて來ました▲桝田屋に團藏さん芝翫さんが來て、私に口がかゝつて來たんですから行かうとした處へ、家橘が遊びに來たのです、當時家橘は横濱の壽樂座に出てゐましたので、直ぐ濱へ歸るとか云つてましたが、私は其まゝ桝田屋へ行つて其晩グデン〳〵に酔つて、新辰中の親方になつてゐる粂さんといふのが箱屋で、私を送つて呉れたのですが、私は帶や着物なんか何うして了つたか譯が分らぬ、緋の長襦袢一枚の上に唐棧の羽織を引かけて、千鳥足でやうやう家へ歸つたのですが、宅には家橘がまだゐましたよ、其が抑も市村と馴初の夜でしたね忘れません明治は二十六年十二月十一日、紀元節の夜でしたわ

三面電報

▲新義州分監の破獄　二十八

日午前貳時新義州分監に收容せる囚徒十三名は破獄逃走したれば看守等は追捕に向ひたる處囚徒は頑強に對抗したるを以て遂ひに其四名を斬殺し三名に重傷を負はせ一名を逮捕、他は悉く行衛不明となれり

大和町の女殺し

▽四十恰好の韓婦人
昨廿八日當地大和町老人亭裏にて開城生れの韓婦人某とて四十恰好の女殺害され居たるが本紙締切の際なりしを以て詳細は次號に讓る

●淫賣買つて露現

兵庫縣平民本町一丁目牛肉屋中島もよ方雇人山本岸雄は本年一月渡韓後右中島方の雇人として牛肉切りに從事し居りしが此の頃の陽氣で一杯飲んで少しくはしくなつたと見へ去る廿一日午後十一時頃より長谷川町淫賣屋濱の家に登樓し同所仲居藤澤わさを買ひ同衣中南部署の巡査に認られ取調の上同人は渡韓後寄留屆け怠り居りし爲め過料金五圓に處せられたとは高い淫賣料に當つたかな

●御馳走酒で亂暴

本町七丁目三十三番戸魚商矢島常太郎（三二）は廿六日午後九時頃得意先きなる司法廳關山崎喜一方に至り一杯饗應に與り酩酊して同家の來客高岡某に惡口吐き掛け爭論を起し亂暴を働き器物等を破損せんとせしより筆洞分遣所に訴へられ同所に於て憂醒の上說諭放免

●淫賣買た牛肉屋

長谷川町二丁目濱の家事濱田あさ（四〇）は四月廿二日午前二時より三時迄の間に於て仲居藤澤ひさ（二）をして本町一丁目五十五番戸牛肉屋川島もよ方雇人山本岸雄に淫賣せしめたる事南部署の巡査に檢擧せられ拘留四日に處せられ藤澤ひさは淫賣したる廉にて三日の拘留に處せられたり

●仁川大神宮例祭

來る五月十一、十二の兩日仁川大神宮例祭を擧行し仁川藝妓は四十七士の服裝にて市中を廻る由



女振り

竹末市五郎氏夫人　竹末つせ子

旦那様は三井物産會社に御勤めである、今より六年前門司から便船に搭じて仁川港に上陸せられたのである此の航海中船が暗礁に乘り上げた際に於ける夫人の舉作は男恥かしき迄のものであつたとは市五郎君の直話である、行李も鞄も其の際悉く潮に浸された爲め元來澤山もなかつたのですが衣類なども見る影もない程に成つて終ひましたとは夫人の述懐である、生れは山口縣大島郡でお年齡は二十七と承知する、本年二月末にお芽出度があつた加之夫れが玉の如な男のお兒さんである、お名はマサヨシと命けられた相である、助産婦は例の堀越なほ子さんである、初產にしては仲々輕い方で夫れに沈着かおあんなさるからさはなほ子さんのお話しである、之れを要するに夫人は外温柔にして内剛健の質である唯モウ故郷の女學校を卒業しただけで恥しい程の事でとは夫人の口から度々聞く所であるが家政の整理、雇人の訓誨に至るまで和はりと行き屆く所を見ると伺がつた方がお恥かしい程である。

●正直なる雜貨屋

仁川仲町二丁目福田雜貨店に於て一昨廿七日午後六時頃開城大和町の岩岡たつと云ふ者買物爲したる際現金五十五圓遺失せしを福田方に於て之を發見せしより仁川署に屆出雜なく遺失者の手に歸りたり因に岩岡は嬉し涙を流し乍ら該金を押戴き引き取りたりと

●ヒゲタ醤油の好評

ヒゲタ醤油の好評嘖々たるは單り内國各地に止まらず現今韓國及清國の各市場に於ても優に他製品を驅逐しつゝあるより近來往々其特約店名を濫用するものある由されど事實同醤油の特約一手販賣店は山邑支店にして彼の清韓洋行の如きも先

五月の韓國劇壇

▽新派と舊派と落語

緣陰滴かなる五月の劇壇は漸く殷賑ならんとす先づ新派の木村猛夫は一昨年壽座に來りて非常なる大當りを取りたるが今回當時の諸元たりし坂本吾一の太夫元にて再び渡韓釜山を打ち目下仁川に開演中なるが兩三日中に當地歌舞伎座に乘り込む筈一座は木村夫妻に馴染の寺田健一等の重なるもので外に新顔數名女優も一二名加はり以前よりはズツト大一座なりと▲伊東文夫は安東縣で大喝采を博し歸途鎭南浦及び平壤を打ち當地へ歸る由▲女賊島津お政は釜山に乘り込みしが漸時京仁方面へ來る由演物は自己の改心錄▲舊劇壽座の中村時子一座は近來になき大當りなるが打ち上後は仁川に行き其後へは中村芝十郎一座にお馴染の林昇改め例の三遊亭圓三等は一日より浪花館に開演の筈亭圓三等は一日より浪花館に開演の筈▲落語三遊亭圓三等は一日より浪花館に開演の筈▲落語三遊亭遊七は今回六代目遊好と改め一座を組織して此程台灣へ趣きしが約一ヶ月の后ち當地に來る由▲講談御前講談師として東都に知られたる桃川若燕は近々一座を引連れ當地に來る筈なるが同人は曩きに豫備兵として第一師團に召集され旅順奉天等の實戰を踏みたれば戰爭談は最も得意とせる處なれば來京の上は定めて滿都の人氣を集中するならん

●正誤●

本月二十二日貴社御發行第三百八拾九號三面雜報に御掲載相成候洗濯屋の惡番頭と題する記事中久代洗濯屋雇人伊藤重治云々と有之候得共自分方の雇人に無之四月下旬より單に起居せるのみにて營業上何等の關係更に無之且同人は末廣屋號伊藤と云ふ名義にて注文取り致居候者にて自分方の迷惑不尠候に付何卒此全文御掲載の上御正誤相成度此段及御依賴候也明治四十三年四月二十二日京城大和町二丁目百五番戸高等洗張業久代鶴松印京城新報社御中

▲平民文庫▼

▲吾輩は此頃旭町の某旅館に知人を訪問した處取次する下女の冷淡なこと實に驚いた聞けばあの旅館は夫婦喧嘩と借金取りで有名なもので大抵のお客は逃げ出して終ふそうだ（金筋某）▲永樂亭に於ける雲丸に申す貴樣は雲右衛門の實弟等と觸れ込み興打と出かけて客を呼んで居るが吾輩は浪花ぶしに付ては素人ではないが貴樣も大概にしてうそをつくのを止せ看板は兎に角貴樣の藝と來ては丸でゼロでないか貴樣が高座に出ると客はぞろ〳〵歸るものが多いのが分らぬか馬鹿奴（江戸子の一八）▲不慮發行停止の厄に遭はれし貴社の不幸に多大の同情を表し候　莫逆新聞申上候（エス生）▲赤門通り幾代の藝妓八重は本町五丁目關だんはんが死亡後一時嘆涙して居たが此の頃永樂町の西山本町の丹后二人を好ちやんにして兩手で花に樂んで居るそうな（岡燒生）▲某經理室の二等主計の醜行爲を素破拔いては如何（通知生）▲目下探報中（係）▲憲兵分隊の江川君の妻を女振りに如何（知らせ生）▲取調中（係）▲新町第一樓は盛んに回し客を取る之に付ては娼妓を壓制的に命ずる事が多い現に九重の好ちやんたる日ノ出町の某が數日前登樓の際樓主幌場仲居極力して殘酷にも厭と云ふに無理に取らせた某は九重の爲めに七八百圓も浪費した爲め今は浪人となつて居る位で九重は非常に心痛したそうな斯の如き殘酷なる遊廓は具体的に素破拔いては如何（憤慨生）▲斯の如き行爲は詐欺的類似殊に殘酷なる樓主幌場仲居不都合な奴だ私が記者に縋て探報しましよ（給仕）▲幾代の美津枝君に同情に堪へぬ艶辨護士の醜情に就く三面記者さんに頼んで具体的に素破拔いで上げましよ（同情も）

紙が其職を全ふする爲に忠實熱誠の盜れて偶事の此に及ぶは又止を得ざる處と云ふべきか余は貴社が不日解停の曉には更に揮土重來の勢を以て其天職に盡さるゝを信ずると共に深く自重自愛せられんことを祈るものなり（はの字）▲火葬場番人の不親切は居留民の皆口に喧傳さるゝ處なるが今僕の精探する處では可驚不正行爲があるこんな人間を平氣で勤めさする民長の氣が知れぬ記者さん精探一番居留民の爲筆誅しては如何（昭義門生）▲京城新報社記者閣下御願申上候私事去る十八日本町一丁目民團役所前旭商會德力覺二郎方へ自轉車の修繕を依賴致其節八十錢の約束にて宅致し昨日受取にまいり候處實に不親切に二三箇所油をさしたるばかりか修繕料二圓を請求致され前の約束を申せば更に取わはずなんたる不德義の店でしようか實に殘念に候右御願

赤穂義士（終）

佐々木信綱作歌
田村虎藏作曲

（十八）やがて着きたる吉良の門
　　二手にわかるゝ裏表
　　定めし部署に從ひて
　　東西一時にうち入りぬ
（十九）忠義に鍛へし太刀先に
　　たふれぬ敵やあるべしや
　　素死を遂せしよろびの
　　聲大空にひびきけり
（二十）世は泰平になれ〳〵て
　　華奢風流を競ひたる
　　夢を破りて元祿の
　　世にこそ匂へ武士の花
（廿一）武士の花ぞうたはるる
　　四十七士の義士の墓
　　香花は今も絕わずして
　　其名も高し泉岳寺

今日の運勢

四月廿九日　舊三月二十日
●一白　先負　甲子　成
△一白　旅行對談事効なし新事見合せの事盜難及衛生に留意すべし△二黑　不振の日なり開店創業見合すべし爭論不和盜害を戒しむ△三碧　潤達の日なり事始め及解決結局の事に妙なり散財多し△四綠　順進の日婚姻入門相談締約に好し保護世話事を禁ず△五黃　震動多き日なり新事及締約旅行見合すべし倘盜害防ぐべし△六白　收利又は便宜を得る日なり但し開店創業は見合すべし△七赤　不平多き日なり交際上及職務上注意すべし△八白　濟滯に了り當僕の事煩累あり△九紫　辛易し新事凶賣買貸借對談劾勘し失意の日なり新事見合せの事農林業には吉（本町五丁目三一館判斷）

廣告

第六期貸借對照表

資産之部

科目	金額
未拂込株金	七〇、〇〇〇・〇〇
諸貸附金	四七六、九八四・四三
不動産	壹参〇、〇四〇・壹七
營業用地所	
家屋及什器	壹〇、五貳〇・六四
假渡金	貳、五九〇・参壹
金銀	四貳四・九四
合計	壹、三三〇、五六〇・四九

負債之部

科目	金額
資本金	壹、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
積立金	四八、〇〇〇・〇〇
諸借金	貳四六、参六六・六五
當期純益金	、壹九参・八四
合計	壹三〇、[illegible]六〇・四九

損益計算

金四萬七千七百九圓参拾貳錢　當期總益金
内金貳萬千五百拾五圓四拾九錢　當期總損金
差引金貳萬六千百九拾参圓八拾四錢　純益金
此分配計算左の如し
金五千圓　積立金
金貳千圓　滯貸準備積立金
金貳千五百七圓拾六錢　賞與金
金壹萬五千圓　配當金（年六厘割）
金壹千六百八拾六圓六拾八錢　後期繰越金

右之通り候也
明治四十三年三月卅一日

京城起業株式會社

取締役社長　和田常一
專務取締役　山口太兵衛
取締役　古城菅堂
同　中村再造
同　關繁太郎
監査役　萬玉岩吉
同　梶原末太郎
同　松尾縮五郎

前記ノ各項調査候處相違無之候也
追而監査役滿期ニ付本月貳拾日株主總會ニ於テ改選候處梶原末太郎松尾縮五郎ハ重任シ秋吉富太郎ハ新ニ當選就任致候

●全羅北道々廳記官々舎其他新築工事
右五月十三日入札ニ附ス（鐵道管理局）
●司法廳官舎其他模樣替及增築工事
右五月十三日入札ニ附ス（建築所）

北西風晴
廿七日（華氏）最高溫度七九、三　最低溫度九、七

…の移住漁業者にては早く既に網にて館…は釣業者未だ[illegible]漁せざるに巨濟島方面…新にて[illegible]好結果を得たるより本年…日數万尾…恰も鰮魚…滿たさるゝの觀あり

●埋築工事許可さる

…木浦を見同會社の埋築は野原功…内部大臣より許可ありたり

●世界周遊團の來京

世界周遊團体ホームス氏一行二十八日…

●…金の支出裁可

前總監公使館所屬物品買收費一萬九千五百七十圓及特別功勞賞與金三千五百…

漢城高等學校に二十九日午前九時より又外國語學校は三十日同刻より何れも獎忠壇に於て春季運動會を開催する筈

●木内次官辭任期
…任の外六件可決…會計檢査院…員保任の件は次回に讓りたりと云ふ
…東上中の木内農…

美術半襟帶締其他紐類各種
京城明治町一丁目 電話一千四百〇九
ゑり徳商店

●自然美の發揮

貴婦人令嬢方の其豐けき頬も雪の肌もともすれば荒れがちの昨日今日、云ふ迄もなく平常御化粧に少なからず注意を拂はれつゝあるは勿論ならむも、中には其品質の善惡の鑑別を忽せになされし爲めに、不知不識の間に皮膚に少なからざる害を受けつゝある方がないとも限らぬと思ふから、玆に御參考迄に一言する。

帝國化粧品倶樂部の製品部にて精製するクラブ洗粉は日本獨佛各國の原料を以て充分に皮膚の營養配劑を施こし、加ふるに特種の香料と美身的藥物とを配合してあるから、常に此クラブを愛用せらるゝ時は自然に皮膚を柔らかにし顔手足の荒を豫防するは勿論、著るしく容色澤を増し且れに配劑中には相當の殺菌力をも含有するが故に「ニキビ」「ソバカス」等の跡を殘すの憂もなく又クラブを以て時時頭髪を洗ふ時は常に髪のチバリを去に妙なるのみならず其色澤を増事亦頗る著るし、故に本品は近來我國のあらゆる階級の婦人方に愛用せらるゝに止まらず、在留外國紳士間にも專ら愛用せられつゝあり、特に某國公使館付の醫官の如きは從來使用の石鹸を捨てゝ本品を專用せらるゝが如き、以て如何にクラブ洗粉が貴顯を博せしかを知るに足らむ、故に貴婦人令嬢方に飽くまで本品の御愛用を御勸めするに躊躇せないのである。

●新なる美膚

皮膚は一週間毎に一變す
容儀を整ふるは紳士の禮なり、皮膚の美を完うするは淑女の德なり、紳士淑女たる者はクラブ洗粉を使用せよ。人間の皮膚は一週間にして一變すと言へり、クラブ洗粉を常に使用すれば全く美艶なる新皮膚を見るを得べし。日に新にして又日に新なりとは是古人の言、日々夜々に其面目を改新するは是クラブ洗粉の現况。

●紳士の髪

洗粉に百種あり然れども紳士の用ゆべきものはクラブ洗粉唯一つ
紳士の髪は如何に洗ふ可きか
顔にクラブ洗粉の有効なるは人既に知れり、然れども髪の洗料として有効なる事を知る人ありや
髪にクラブ洗粉を用ふれば玉子より遙に有効なり
試みにクラブ洗粉を以て洗へ！必ず滿足なる効果あり

明治廿年七月創立
東京火災運送海上保險株式會社
資本金一千萬圓
京城代辨店 本町四 山口呉服店 電話九番
事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番

丸一の大安賣
桃に柳に道すがら
皆樣御駕を曲げさせ給へ
四月廿三日より三十日まで
京城本町三丁目
丸一 和洋太物店
（電話六三五番）

移轉 擴張
從來明治町一丁目に於て營業中は各位の多大なる御愛顧により日増隆盛の域に赴き候段奉深謝候就ては在來の店舗にて狹隘を告げ申候故今般業務擴張と共に京城本町二丁目に移轉仕候間此段謹告仕候也
貴金屬細工
金銀類
寶石美術品
京城本町二丁目
高木二樂堂
電話九九一番



●如何に難病なりとも全治す
定價 一日分金六錢 一週間分金四拾錢 三週間分金壹圓二拾錢
本舖 東京日本橋通四丁目 大阪東區南久寶寺町 津村順天堂 支店
●子宮病 血の道 婦人良藥



支店開設廣告

謹啓陳は時下陽春の候大方の各位益々御清穆奉大賀候降而弊店儀開業以來熱心と勉强とを旨とし專心斯業に從事仕り居り候處幸ひ江湖の認むる處と相成り日増隆盛に赴き候に付今般左記に支店を開設し本支店共獨特の技能を以て迅速に調進可仕候間多少に不拘御用命仰付被下度伏而奉願上候

美術、書畫、襖、壁、天井張、

京城壽町一丁目
桂萬吉
（電話六二七番）
同岡崎町 矢島鐵工所筋向
桂龍山支店
（電話架設中）

廣告

各位益々御清穆奉賀候陳者弊店江湖御得意樣の御引立を蒙り御陰を以て日に月に隆盛に赴き候段深く奉鳴謝候何卒今後とも倍舊の御愛顧奉希上候
就ては來る四月六日は當店主渡韓十五周年に相當し六月十一日は恰も當京城へ入京の當日に有之候間聊か自祝を兼ね紀念の爲め右期間内左の方法に依り抽籤を以て景品付大賣出し可致候に付何卒賑々敷御來店の榮を賜り度此段奉希上候

一、景品總金額二千圓
一、景品券は御買上金額二圓毎に一枚を呈す
一、景品券進呈期間は四月六日より六月十一日迄とす
一、抽籤は六月十二日正午廣告しある各新聞記者並に御得意樣三名の御立會を乞い日本人商業會議所樓上に於て施行す
一、景品券引換期間は六月十三日より同三十日正午迄弊店に於て引換可致候以後は無効とす

一等 白米（五斗入）五十俵 三百圓
二等 十八金金側時計 一個 百三十圓
三等 竹内鋼鐵六號金庫 一個 百十圓
四等 純金四匁指環 一個 二十八圓
五等 朱珍丸帶 一本 五十圓
六等より九等迄、十等、廿等、卅等、四十等、五十等、六十等、七十等、八十等、九十等、百等
總桐東京簞笥 各一個 三十圓
竹内鋼鐵八號金庫 各一個 五十五圓
十四金女持金側時計 各一個 五十圓

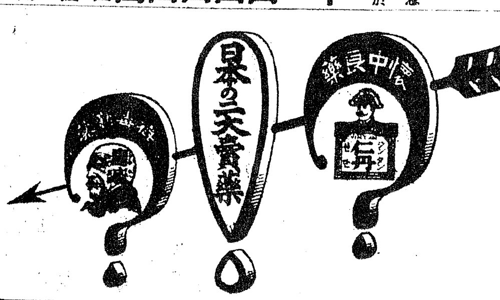
十五等 廿五等 三十五等 四十五等 五十五等 六十五等 七十五等 八十五等 九十五等 上等御召 各一反 十八圓
十一等より十四等まで 仙臺瓶掛 各一個 十二圓
十六等より十九等まで 本セル 各一反 八圓
廿一等より廿四等まで 姿見 各一個 六圓
廿六等より廿九等まで 白米（五斗入）各一俵 六圓
卅一等より卅四等まで 絹張洋傘 各一本 五圓
卅六等より卅九等まで 手提金庫 各一個 四圓
四十一等より四十四等まで 蒸氣アイロン 各一個 三圓五十錢
四十六等より四十九等まで 掛時計 各一個 三圓
以下 空籤なし

五十一等より五十四等まで、五十六等より五十九等まで 手提金庫 各一個 二圓
六十一等より六十四等まで、六十六等より六十九等まで 鐵瓶 各一個 二圓
七十一等より七十四等まで、七十六等より七十九等まで 水差 各一個 一圓八十錢
八十一等より八十四等まで、八十六等より八十九等まで 南部鋼子五德 各一個 一圓四十錢
九十一等より九十四等まで、九十六等より九十九等まで 釣鐘 各一個 一圓
百一等より二百等まで 桐箱入紀念盃 各一個

和洋金物商
京城本町五丁目
藤本藤次郎本店
長電話四十五番 振替貯金口座韓國二五六番

○大勉强と圓城呉服店
○四月廿日より本月中
春衣大賣出し
今回は意外之安價物多數取揃へ並に見切反物澤山陳列致居候間是非一度御來店之上多少に拘らず御買上之程奉希上候

自由足袋 發賣元
京城本町三丁目
圓城呉服店
電話一五七番



代理店
京城南大門通三丁目
新井藥房
電話九百四番 振替口座韓國千六十八番

電話一一八二番
ちやき
金高の多寡に拘はらず十二分の御便利を圖り迅速御相談に應ず質物は叮嚀に取扱極めて安全に一定の場所に保管す
京城□町
大槻商行質部
流質品と雖も場所の許す限り可成長期間大切に留保し萬遺漏なきを期す

消毒牛乳（保證附）
フレッシュバター（新鮮乳油）
韓國畜産株式會社
南大門外（電話八八番）

桃花滿開 御觀覽御隨意
全山
丘上には御休憩所の設あります
京城南大門外
荒井牧場

大上商店
特約販賣自製
味噌醬油製造元
漬物問屋
京城本町五丁目
支那白菜漬
朝鮮菜葉漬
大賣出し
（電話二五一番）

會席御料理
品川樓
北米倉町 電話千六百二十四番
各位の御引立に依り日々繁昌仕候段誠に難有奉存候就ては聊か御眷顧に酬ゆるの方法として今般東京淺草ロックにて有名なる岩壽しの名人を板場に雇入れ候に付き花見御遊山等の御壽し御辨當は至極御手輕にて精々相働き候間何卒御用仰せ付け被下度願上候

營業科目
諸官衙御用品調達
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸染料類

委託販賣
東京ランバート商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
釜山鹽業合資會社食鹽特約

藤田合名會社
本社 京城明治町二丁目（電話二三〇番）
出張所 東京南鍋町一丁目 京橋新橋三六九二

生徒募集
和洋裁縫、造花、盆石、茶の湯、生花、御料理、即席及普通教授
右親切叮嚀を旨とし教授致候御出相成度候方は出教授仕候
寄宿舎の設備も有之又造花材料も備置申候
龍山老松町六十七番戸 龍山橋通取次電話一一九番
佐藤セキ
五島チカ

移轉擴張
今般左記へ移轉し從來の業務一層確實且つ迅速を旨とし貴需に應じ可申候
代書 測量 仲介
京城本町一丁目（民團役所前）
衛藤事務所
主任 衛藤五道
（電話七〇五番）

金魚各種
卸小賣
陸軍御用達
龍山山下町一丁目（兵器支廠官舍入口）
馬木勇吉本店
電話三六四番
茶器商
京城本町五丁目一番戸角
馬木勇吉支店
電話四七一番